

都市再生整備計画 事後評価シート
南国中央地区

令和6年3月

高知県南国市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	高知県	市町村名	南国市	地区名	南国中央地区		面積	86.0 ha
交付期間	平成29年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和5年度	交付対象事業費	6,162.0百万円(国費3,074.8百万円)	国費率	49.90%	
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名						
		基幹事業	道路(都市計画道路高知南国線(第3工区))、地域生活基盤施設:広場(南国駅前線沿道広場)、高次都市施設(まちおこしセンター、地域交流センター)、誘導施設:教育文化施設(図書館)					
	提案事業	なし						
	当初計画から削除した事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		基幹事業	地域生活基盤施設:情報板(観光案内板:後免駅前広場、後免中町電停、後免東町電停、とさでん交通後免駅)	地権者との用地交渉に不測の日時を要したことによりJR後免駅前広場の整備が遅れたこと、また、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるシンボルロード基本構想のワーキンググループ開催の遅れにより都市計画道路南国駅前線(第2工区)の整備が遅れたこと等から、それらに伴って整備予定であった観光案内板の整備も遅れることになり、2期への事業実施に移行した。		影響なし		
	提案事業	なし						
	新たに追加した事業	基幹事業		①道路(都市計画道路南国駅前線(第2工区)、市道後免永田線、市道宝橋西線) ②公園(篠原地区1号街区公園、篠原地区2号街区公園) ③下水道(都市計画道路高知南国線(第3工区)、都市計画道路南国駅前線(第2工区)) ④地域生活基盤施設:広場(南国市ものづくりサポートセンター隣接広場、図書館入口ポケットパーク) ⑤高質空間形成施設:緑化施設等(JR後免駅前広場、(都)南国駅前線、後免町商店街)	①都市計画道路南国駅前線(第2工区)は、JR後免駅と中心市街地を結ぶ都市計画道路で、当該区間の沿道に誘導施設(図書館)の整備が計画されたことから、図書館と一体的な整備計画とすることでより効果的なまちづくりが可能と判断した。また、市道後免永田線及び市道宝橋西線は、図書館利用者のアクセス道路であり、拡幅整備等を行うことにより図書館の利用を促進させる。 ②篠原土地区画整理事業の区域内に当該地区内の児童の遊び場や住民の交流・憩いの場、そして災害時の避難場所として機能する公園を整備することで、良質かつ安全・安心の生活環境の形成を行う。 ③都市計画道路高知南国線(第3工区)及び都市計画道路南国駅前線(第2工区)の整備と一体的に汚水管渠を整備することで、当該区域内の公衆衛生の向上及び公共用水域の水質の保全に資する。 ④南国市ものづくりサポートセンターの企画等と連動したイベントなど多様な都市活動に利用できる公共空間として、また、図書館に来館される歩行者の滞留場所としてそれぞれの広場を整備し、歩いて楽しいまちづくりを推進する。 ⑤JR後免駅前広場～都市計画道路南国駅前線～後免町商店街～南国市ものづくりサポートセンターに至るまちなか歩きルート上に、ストリートファニチャーやモニュメント、植栽、カラー舗装及び照明施設等の施設を整備することで新たな人の流れを呼び起こすことのできる魅力的で活力あるまちなみの実現を目指す。		影響なし	
提案事業		事業活用調査(南国市立地適正化計画の改定)		南国中央地区都市再生整備計画の成果に対する評価・分析をふまえ、南国市立地適正化計画の改定に向けた検討作業を行う。併せて、立地適正化計画区域内の災害リスクを評価・検討し、立地適正化計画改定(防災指針の追加)の基礎資料とする。		影響なし		
交付期間の変更	当初	平成29年度～令和3年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		図書館整備事業については、建設用地の選定に不測の日時を要してしまったこと、またそれに加え新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地元説明会等も延期せざるを得ない状況となったこと等から、工期の延長が必要となった。また、都市計画道路南国駅前線(第2工区)における駅前広場の用地買収において地権者との交渉が難航していることから、止む無く工期を延長せざるを得なくなった。なお、指標への影響はないが、数値目標の目標年度は工期延長に伴い令和4年度に変更した。			
	変更	平成29年度～令和4年度						

	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	指標2	指標3										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	商店街の歩行者数(後免町商店街の一日の歩行者数)	人/8時間	107	H26	160	R4		138	×	あり なし ●	まちなか歩きルートのうち、JR後免駅前広場及び都市計画道路南国駅前線(第2工区)の整備、そして後免町商店街(市道後免1号線)の改良が未整備のままであることから、まちなか歩きルートへの人の流れが未だ生まれていない。	令和11年3月(2期計画事業終了の翌年度)
	指標2	公共交通の利用者数(中心拠点・居住誘導区域内における公共交通利用者数)	人/年	2,139,721	H28	2,140,000	R4		1,998,567	△	あり なし ●	新型コロナウイルスの感染症対策として国が発出した緊急事態宣言等の影響により、地域内での人流が抑制された結果、目標より少ない利用者数となった。しかし、令和2年度を底に近年はやや改善の傾向にある。ただし、バス運転手の人手不足に加え、2024年問題への対応による路線減便等の影響を考慮し、目標値の下方修正も検討する必要がある。	令和11年3月(2期計画事業終了の翌年度)
	指標3	中心市街地の公益施設利用者数(図書館、南国市ものづくりサポートセンター、南国市地域交流センターの年間利用者数)	人/年	56,110	H27	100,000	R4		126,370	○	あり なし	南国市ものづくりサポートセンター及び南国市地域交流センターが開館し、特にものづくりサポートセンターの来館者が想定より上振れたことで、新図書館の開館を待たずに目標値に達した。	令和11年3月に予定している2期計画の事後評価において、新図書館開館後の指標の評価を行い、その効果の発現要因を分析・検討する。
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	中心拠点・居住誘導区域内人口	人	13,954	H27	/			14,884	/	/	南国市ものづくりサポートセンター等の魅力を感じる施設整備や都市計画道路高知南国線(第2工区・第3工区)の供用開始により、住みやすさが向上した。	—
	その他の数値指標2	中心市街地の空き店舗活用数	件	1	H27	/			8	/	/	南国市ものづくりサポートセンターの整備により、市外からの来街者数が増加し、賑わい創出効果が一定現れている。	—
4)定性的な効果発現状況	南国市ものづくりサポートセンター(海洋堂 Space Factory なんこく)の開館や当該施設の西隣にあるものづくりサポートセンター隣接広場の整備、それから当該施設の南側に開通した都市計画道路高知南国線(第2工区・第3工区)の整備により、街並み景観が目に見えて様変わりした。特に、ものづくりサポートセンター隣接広場においてマルシェイベントの開催やキッチンカーでの営業等が民間主導で行われるようになり、賑わいと都市活力が生まれている。												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	南国市都市再生協議会や南国市中心市街地振興協議会ワーキンググループにおいて、当計画の進捗状況等を報告し、今後の取組方針等について協議を行った。また、南国市地域交流センターや新図書館の基本計画や管理運営における市民意見の反映、篠原地区1号・2号街区公園の整備に向けた地元住民によるワークショップの開催、南国市シンボルロード基本構想作成に向けた検討会を組織しワークショップを開催した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域の多くの人たちに利用していただくとともに、地域の人たちに親しみをもってもらえるような施設となるように、地域住民との協働を基本とした運営を目指す。 ●				
	持続的なまちづくり体制の構築	—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

南国中央地区(高知県南国市) 都市再生整備計画事業の成果概要

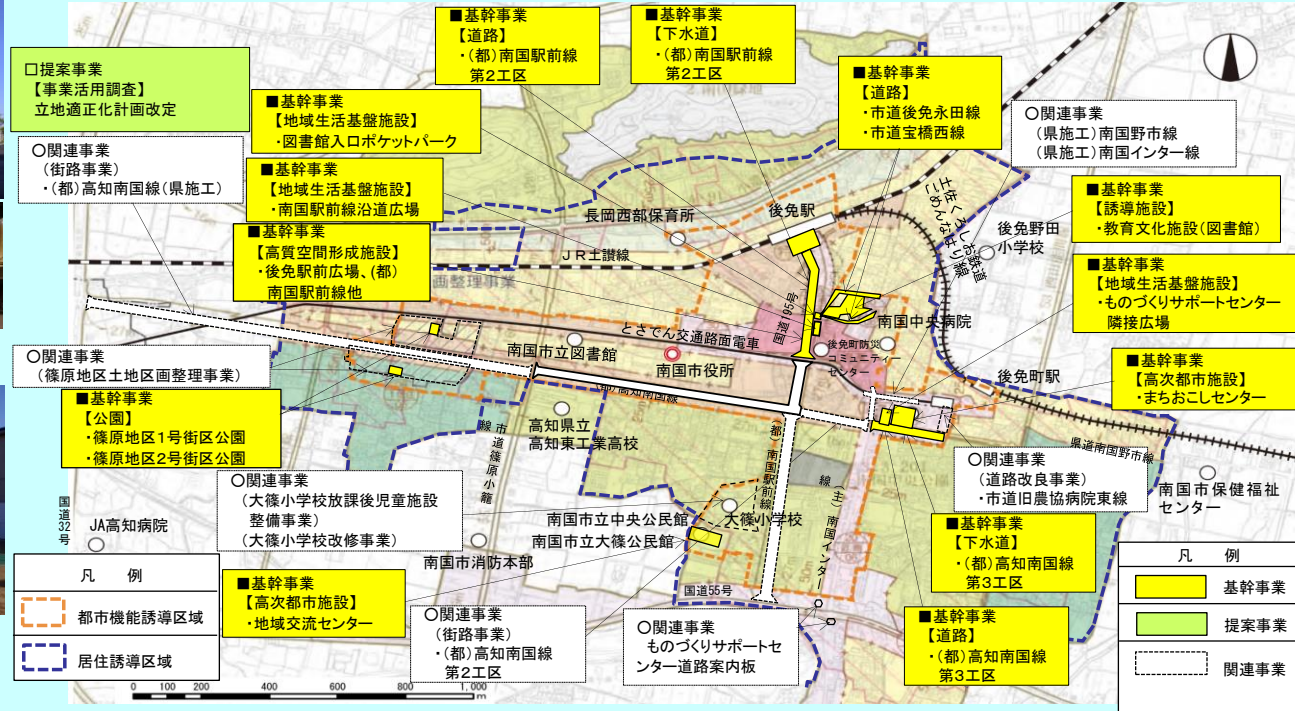
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
・公共交通の利用と連携した、新たな人の流れを呼び起こすことのできる魅力ある中心市街地の再生 ・公共施設誘導・集約に伴う都市活力の強化 ・本計画である1期計画(平成29年度～令和4年度)と次期計画である2期計画(令和5年度～令和9年度)により、上記の目標を達成させる	商店街の歩行者数	単位: 人/8時間 107	H26 160	R4 138
	公共交通の利用者数	単位: 人/年 2,139,721	H28 2,140,000	R4 1,998,567
	中心市街地の公益施設利用者数	単位: 人/年 56,110	H27 100,000	R4 126,370



南国市地域交流センター(MIARE!)



篠原地区2号街区公園



南国市ものづくりサポートセンター(海洋堂 Space Factory なんこう)



ものづくりサポートセンター隣接広場



都市計画道路高知南国線(第3工区)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・南国市ものづくりサポートセンター(海洋堂Space Factory なんこう)の開館により来街者が増え、賑わい創出につながっている。 ・ものづくりサポートセンター隣接広場においてマルシェイベントの開催やキッチンカーでの営業等が民間主導で行われるようになり、賑わいと都市活力が生まれている。 ・都市計画道路高知南国線(第3工区)が開通したことで、ものづくりサポートセンターへの車でのアクセスが容易になるとともに、子どもたちも隣接広場へ安心して遊びに行けるようになった。 ・市民の文化活動やコミュニティ活動の拠点として南国市地域交流センター(MIARE!)が開館し、文化教室の開催や展示イベント、音楽発表会や各種会議など多用途に多くの市民に利用され、地域住民相互の交流が広がっている。 ・篠原地区2号街区公園が供用されたことにより、子どもたちの遊び場だけでなく、子育て世代の親たちの交流の場、そして地域住民の憩いの場として多くの住民に利用されている。また、当公園内に整備した防災ゾーンでは、地元の自主防災組織が定期的な防災訓練を行っている他、設置された防災倉庫の備蓄品の管理等も行っており、地域の防災活動の拠点としても機能している。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・誘導施設である南国市立図書館の整備を進めるとともに、JR後免駅前広場を含む都市計画道路南国駅前線(第2工区)や南国駅前線沿道広場の整備、それから後免町商店街(市道後免1号線)の再整備を進め、点在化している公共施設を相互に結び「まちなか歩きルート」を形成し、新たな人の流れを呼び起こすことのできる魅力ある中心市街地の再生を図る。 ・「まちなか歩きルート」の形成に向けては、地域住民や民間事業者と連携を深め、居心地が良く歩いて楽しいまちなかづくりを推進することが重要。 ・JRや土佐くろしお鉄道、とさでん交通路面電車、そして路線バスやコミュニティバスなどの公共交通の利用を活かしたまちなか再生を図る。 ・高知龍馬空港を有している本市では、空港から市の中心市街地とを結ぶバス路線が途絶えて久しい。「空港連絡線」の実証運行(令和6年度実施予定)を行うなど、本格的な運行に向けた取組を急ぎ進める必要がある。 ・高知龍馬空港では台湾との国際線運航が令和5年5月より開始されており、現在多くの海外客が高知を訪れている。海外客を迎え入れ、インバウンド効果に結びつくまちづくりも必要。 ・まちなかへの駐車機能の導入に向けて具体的な検討を進める。 ・NHK朝の連続テレビ小説「らんまん」に続き、令和7年4月から本市の中心市街地・後免町で少年時代を過ごした漫画家である本市の名誉市民でもあるやなせたかし氏をモデルとした「あんぱん」の放映が決定されたことを受け、「やなせたかしロード」としてアンパンマンやドキンちゃんなどのキャラクター像を設置している後免町商店街の再整備による磨き上げに取り組む。 ・中心市街地の都市基盤整備の効果を持続的に発揮させるため、空き店舗解消に向けた補助金制度の拡充などソフト事業を中心とした継続的な事業実施を行う。